

# 四国教職大学院の交流(集中講義)を実施しました!

## < 教員研修プログラム開発演習 >

### 研修内容理論編 (オンライン)

— 事例分析と研修開発 —

- ・業務改善 ・コンプライアンス
- ・管理職 ・若年層教員育成



9月24日、25日、10月29日の3日間の日程で、四国教職大学院交流の集中講義が開講されました。**オンライン、対面の併用開催で、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学の現職教員派遣院生11名が参加しました。**スクーラーリーダーとして、今日の学校を対象とする新たな研修を開発するための知識を習得し、実際に開発したプログラムを模擬体験するという、主体的・対話的で深い学びの実現につながる演習中心の講義です。

理論編講義の後、約1か月間で研修プログラムを開発し、模擬体験演習に向けて各自が準備し、対面授業で発表しました。最終日の**研修プログラムの提案**では、**個と集団による対話**により、テーマについての議論が深まりました。

受講院生は、教頭経験者、指導主事、研修主任等の経験者で、今後、学校現場では教員研修のキーパーソンとなる役割があることから、様々なデータや学校現場の実態を踏まえた、実践的な視点を重視した演習となりました。

### 研修内容実践編 (対面) — 研修プログラムの提案 —

- ・「教員は、学校で育つ！」 【人材育成主任研修】
- ・「ミドルリーダー養成！」 【ブレーストミング研修】
- ・「ポストコロナを見据えた学校行事を考える！」【教職員等校内研修】
- ・「業務改善研修！」 【業務改善推進主任研修】

模擬体験演習では、**ICTを効果的に活用**して、各自の自己内対話を可視化した資料を瞬時に共有するなど、**効率的、効果的な研修方法**も習得しました。

この四国教職大学院の交流は、愛媛大学教職大学院の創設以来継続しており、互いの実践課題研究の交流を始め、**各大学教員の専門分野の指導**を受けることができ、**学びの拡大と質の保障が特徴的**です。最終回の授業では、研究者教員の専門的視点から、組織マネジメント、教育相談・教育心理等について、また実務家教員による学校組織改革の実践的視点から等、多様な指導助言を受けました。

更に、この**交流の醍醐味**ともいえるべきは、**休憩時や昼食時の自然発生的な対話、院生同士の交流**です。互いに、他県の現職教員と学校現場の課題や改善策について語り合う機会など 派遣研修ならではのメリットであり、今だからこそ可能な貴重な学びの時、ネットワーク構築の場なのです。

参加した現職院生にとっては、管理職、行政職など、今後の自身の職能開発を目指して、モチベーションアップに繋がる集中講義でした。

### 参加院生の感想

- ・研修は、教員の基盤だと実感し、同僚にどう伝えていこうか考えたいと思います。
- ・他大学との交流は、大変貴重であり、教職愛学院に修学したメリットだと実感しました。
- ・参加の先生方の新しい視点や行動力、これからの現場には欠かせない人材だと感じました。皆さん、魅力的で、今後の交流も楽しみです。
- ・これからも積極的に情報交換していきたいです。
- ・実りは絶大で、今日の学びはここでしかできないと再認識したので、このネットワークを大切にしたいです。

